

平成29年6月議会 宇都宮市議会定例会報告

一般質問
一問一答方式

福田 智恵

質問項目

1 市長の政治姿勢について

- 1) 人口減少社会の全庁的な認識と施策の横断的な実施について
- 2) 地域マネジメントと規範的統合の推進・自治会及び地縁組織の活性化について

2 地域包括ケアシステムと介護予防・日常生活支援総合事業について

3 ライフステージを通した予防と健康づくりについて

4 空き家の活用について

5 生活困窮者の自立支援について

- 1) 一時生活支援事業と中間的就労について
- 2) 子育て世代の包括的な支援について
- 3) 相談や支援に関する職員の人事について

6 人口オーナス期における働き方改革について

7 中小企業振興条例の制定について

8 教育行政について

- 1) 少子化が教育に与える影響と少子高齢社会に耐えるために必要な教育について
- 2) 発達障がいに対する理解と保護者の受容について
- 3) 教育環境の整備について

質問及び答弁（抜粋）

2 地域包括ケアシステムと介護予防・日常生活支援総合事業について

Q 4月に制度化された介護予防・日常生活支援総合事業の住民主体による新たなサービスの創出においては、住民主体としながらも行政の「地域マネジメント」の更なる後押しがなくてはならないと実感している。また、地域包括ケアシステムの構築にあたっては市民理解が不可欠のため、早急に意識の醸成を図る必要があると考える。その上で、自治会や地縁組織はイベント型から課題解決型へ転換を促し、2025年問題に対応した住民主体のサービスに繋げていくことが必要であると考えているが、住民主体の地域支え合いの体制づくりに向けて、見解を伺う。

A この問題を「我が事」ととらえ、互いに連携しながら、声掛け、見守りをはじめとする地域での支え合いなど、各地域でできることを

考え、取り組んでいただくことが重要と考えている。各地域での出前講座や説明会などで、身近な地域における支え合いの取り組みへの住民参加の必要性などについて理解促進に努めるとともに、「多様な支え手」であるNPOや老人クラブなどとも積極的に意見交換を行いながら、地域の支え合いの体制づくりを支援していく。

4 空き家の活用について

Q 今後も空き家は増え続けると見込まれる。空き家を地域コミュニティの維持及び活性化を促す地域資源と捉えた活用が急がれており、シェアハウスや福祉施設として活用するための特例措置や条例制定など、規制を緩和していく必要があると考えるが、見解を伺う。

A 「住宅改修補助制度」を空き家まで拡大するとともに、「住宅取得補助制度」の創設により中古住宅の取得を促し、空き家の有効活用に向けた環境づくりに取り組んできた。また、本年度は官民連携組織「宇都宮空き家会議」を設立し、空き家の管理や活用に取り組んでいる。今後は、まちづくりの考え方に即し、都市計画制度を適正かつ弾力的に運用することにより、地域コミュニティの維持・活性化に向けた、空き家の活用を推進していく。

私たちは皆様の声を市政に活かします!!

一般質問
一問一答方式

中塚 英範

質問項目

1 市長の政治姿勢について

- 1) 市民への丁寧な説明について
- 2) LRT整備事業・公共交通再編等について

2 介護予防・日常生活支援総合事業について

3 子どもの貧困対策について

- 1) こども食堂について
- 2) 学習支援について

4 犬猫の殺処分ゼロに向けた取り組みについて



質問及び答弁（抜粋）

3 子どもの貧困対策について

- 1) こども食堂について

Q 子どもの貧困は深刻な社会問題となっているが、このような現状を地域や民間の力で解決を図るものとして、全国的に子ども食堂の輪が広がっている。活力と幸福感を生み出し、貧困からくる負い目などの心を少しずつ溶かしていく「食べる」ことへの支援であるこども食堂は、子どもの貧困対策としての入り口に必要不可欠なものと考えるが、こども食堂の開設には、保健所から営業許可を受ける為の改装費が約50万円～80万円位かかるため開設の大きなハードルになっていることから、こども食堂の輪を広げるために改装費に補助を行う事が必要と考えるが見解を伺う。

A 現在、市内4カ所で食事の提供や地域における多世代の交流などを目的とし、それぞれの事業者が熱意のもと独自性を出しながら自主的・自律的に運営がなされていると認識しており、開設に対する財政的支援については、こども食堂の目的や内容において対象者を制限することなく広く受け入れていることや、それぞれの運営方針に基づき料金が設定されている事など

から、子どもの貧困対策としては、現時点において市からの協力や支援は難しいと考える。

4 犬猫の殺処分ゼロに向けた取り組みについて

Q 県は「人と動物の共生する社会をつくり、処分ゼロを目指します」という方針のもと、栃木県動物愛護管理推進計画を改定したが、本市としてこの計画をどのように受け止め、殺処分ゼロに向けて取り組んでいくのか伺う。

また、神戸市では野良猫の殺処分を減らすため、野良猫の不妊・去勢手術を全額公費で行う「神戸市人と猫との共生に関する条例」が施行された。本市もこの条例を参考に取り組むべきと考えるが、見解を伺う。

A 殺処分ゼロを目指し、飼い犬や猫の適性飼育の推進、民間団体と連携した譲渡機会の拡大、動物愛護思想の普及啓発の推進等の施策に積極的に取り組んでいく。

犬猫の不妊・去勢手術への助成については、飼い主の適性管理が重要との考えから、飼い犬や猫の不妊手術費の助成を行っているところであり、野良猫に関しては、神戸市や他都市の取り組みの情報収集を行っていく。

9月議会一般質問登壇予定者

山本正人・駒場昭夫

市政に関するご意見、ご要望は私たちにお寄せ下さい!

掲載項目

名前／①当選期数／②会派の役職／③所属委員会・会議
④連絡先／⑤メールアドレス／⑥ホームページ



いまい やすお
今井 恭男

①8期 ②会長
③総務常任委員会
都市計画審議会
④宇都宮市下栗町718-3
TEL. 656-3841
FAX. 656-4106
⑤y-imai@gem.hi-ho.ne.jp
⑥http://www.hi-ho.ne.jp/y-imai/imai/Top.html



やまもと まさと
山本 正人

①8期 ②副会長
③環境経済常任委員会
栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員
④宇都宮市江曾島町102-4
TEL. 678-6025
FAX. 678-6025
⑤ysbshanghai@yahoo.co.jp
⑥http://www.yamamoto-m.com



こまば あきお
駒場 昭夫

①3期 ②幹事長
③建設常任委員会
議会運営委員会
宇都宮市廃棄物減量等推進審議会
④宇都宮市下川俣町5-2
TEL. 661-7343
FAX. 661-7343
⑤a.komaba@mx10.ttcn.ne.jp



ふくだ ちえ
福田 智恵

①3期 ②政調会長
③厚生常任委員会
議会広報広聴委員会
宇都宮市街地開発組合議会議員
宇都宮市社会福祉審議会
④宇都宮市六道町12-38
TEL. 636-2582
FAX. 636-2559
⑤info@f-chie.jp
⑥http://www.f-chie.jp



こだいら みちお
小平 美智雄

①2期 ②会計
③文教消防水道常任委員会【副委員長】
宇都宮市総合計画審議会
宇都宮市交通安全審議会
④宇都宮市鶴田町405-38
TEL. 305-4269
FAX. 305-4269
⑤kodaira.m@nifty.com



なかつか ひでのり
中塚 英範

①1期
③環境経済常任委員会【委員長】
議会運営委員会
宇都宮市中央卸市場運営協議会
宇都宮市環境審議会
④宇都宮市高砂町25-15-203
TEL. 653-5151
FAX. 636-1017
⑤info@hide-nakatsuka.com
⑥http://hide-nakatsuka.com

さらに議会情報をご覧になりたい方は、宇都宮市議会ホームページまでアクセスして下さい。

<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/gikai/>